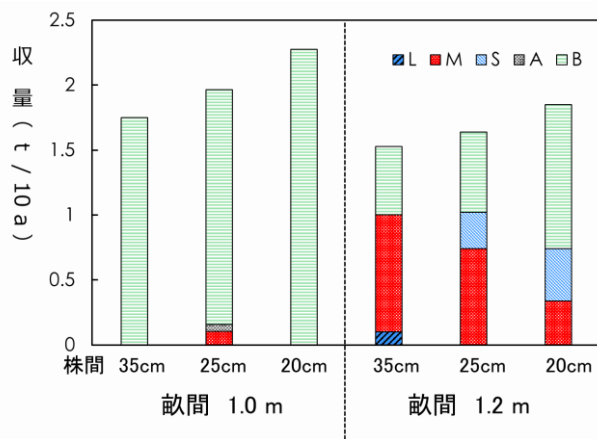
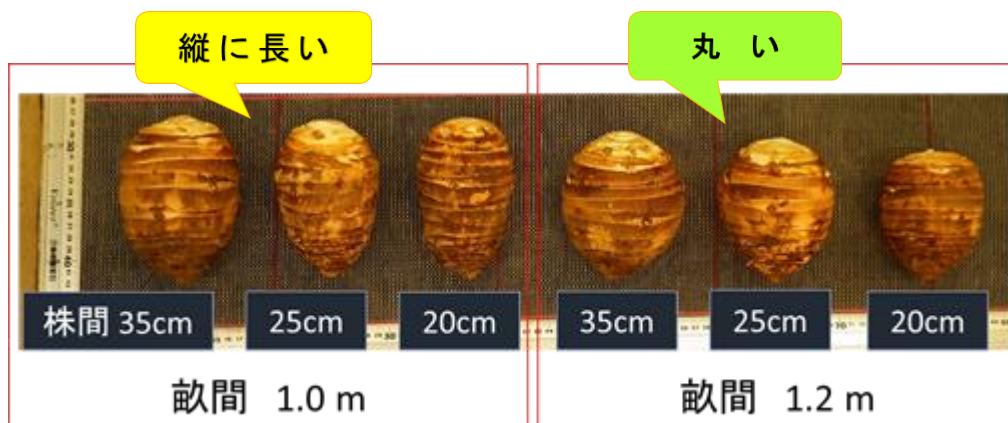


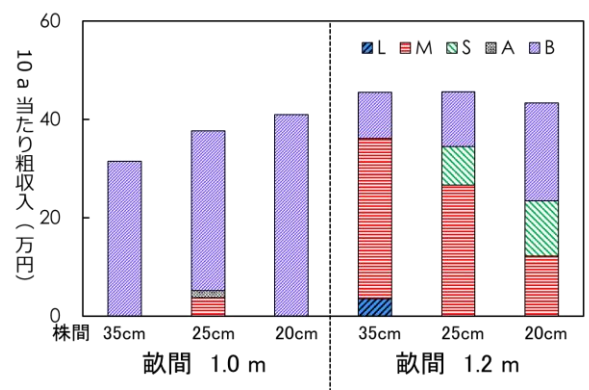
## 商品性の高い丸系八つ頭の栽培方法

県内では平成24年から「丸系八つ頭」の導入が始まり、栽培面積が拡大し出荷量も増えていきます。しかし、生産年や生産者により芋の大きさや形状のばらつきが見られるため、規格に沿った大きさや形状（縦横比 1.3 未満）の丸い芋を安定して生産できる栽培技術を検討しました。

畝間 1.2m、株間 35cm、培土 5cm 程度で栽培すると、親芋が丸く形状の良いものが得られ商品性の高い L, M 規格が増加します。



畝間 1.2m にすると L, M, S 規格が増え、株間 35cm で L, M 規格の親芋の割合が高くなる。



10a 当たりの粗収益は L, M 規格が多い畝間 1.2m、株間 35cm の栽植区で高い。

畝間 1.2m、株間 35cm の栽植密度で培土 5cm にすると収益性が高まる。

(高収益畑作担当 TEL 048-536-0442)